

S D活動報告書

令和 7 年度

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学

令和7年度 SD 活動報告書（概要）

1. 令和7年度 SD 活動

本学が行う SD 活動は、「岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 スタッフ・ディベロップメント委員会規程」に基づき、SD 委員会が推進主体となり、大学職員の能力向上のための取組みにつき、OJT を基本としつつ Off-JT 及び自己啓発の 3 つの視点から複合的に行っている。Off-JT については、職員の能力向上や意識改革の契機となる機会の提供を目的として、各種研修会への参加、内外講師等によるセミナーを実施し、自己啓発については、従来の研修費補助、国家資格取得補助制度を踏襲するとともに、近年は WEB 研修システム「e-JINZAI for university」の活用を進めている。

以下に令和7年度の活動内容の概要をまとめ報告する。

2. 令和7年度 SD 研修

（1）「学内研修会」（合同研修会）

本学には SD 委員会のほかに、主に大学の授業内容や方法の改善を図るための組織的な研修や研究を推進するために FD 委員会及び IR 推進室が設けられている。令和7（2025）年度はそれらの組織との合同研修会を下記の要領にて行い、いかにして教育の質を確保し、学修成果を可視化していくかについて理解を深め、今後の実践に役立つ考え方や視点を得ることができた。

- ・日 時：令和7（2025）年8月6日（水）10時40から12時10分まで
- ・演 題：教育の質の保証及び学修成果の可視化について
- ・講 師：共愛学園前橋国際大学 学長 大森昭生氏
- ・内 容：教育改革トレンドの推移、教学マネジメントの理念、教学マネジメントの実際、
だれのための大学なのか

（2）「学内研修会」（SD 研修会）

本学の SD 研修会は、例年、職員の意識改革の契機となる機会の提供、及びビジネススキル並びにマネジメント力の向上を目的として、内外の講師、又は学内発表者によるセミナーを実施してきた。令和7年度は、事務局各課の事業計画及び業務課題に関し、各課代表からの発表を聴く機会を設け、それらを共有することで、部署間および教職員間の相互理解を深めることができた。

- ・日 時：令和8（2026）年2月26日（木）10時40分から12時10分まで
- ・内 容：事務局各課の事業計画及び業務課題等に関する説明
- ・発表部署：総務課、財務課、大学総務課、教務課、学生支援課、キャリア支援課、
入試広報課

（3）「学外研修会・セミナー」等への参加

SD 委員会では、職員の専門性を高めるとともに、国（文部科学省、厚生労働省など）の政策動向を正しく理解することを目的として、日本私立大学協会をはじめとする各種団体の研修会・セミナー等への参加を推奨している。また、他大学の担当者との交流を通して、情報収集のために必要なネットワークを構築する狙いもある。

令和7（2025）年度に参加した主な学外研修会は下表のとおりである。

実施日	実施団体	内 容
令和 7 年 5 月	全国私立大学教職課程協会	第 44 回研究大会 (松山大学文京キャンパス)
令和 7 年 6 月	大学経営協会	2025 年度総会記念講演会 (日本プレスセンタービル)
令和 7 年 10 月	日本私立短期大学協会	私立短期大学教務担当者研修会 (オンライン)
令和 7 年 10 月	愛知県私大事務局長会	職員研修会 (南山大学)
令和 7 年 10 月	日本私立短期大学協会	教務相当者研修会 (オンライン)
令和 7 年 11 月	日本私立大学協会	就職部課長相当者研修会 (アルカディア市ヶ谷)

(4) 自己啓発の推進

①書籍購入・セミナー等自主参加研修費補助

SD 委員会では、職員が自己啓発のために購入した書籍等の購入費用、及び大学の管理・運営、学生サービスの向上につながるセミナー、学会、講習会等の参加費について、2 万円／年・人を上限に申請に基づき補助している。

令和 7 (2025) 年度の利用実績は次のとおりであった。

・利用人数：6 名 ・利用総額：81,997 円

②国家資格取得補助

①に加え、国家資格取得のための学費等について、当該資格試験に合格した場合、3 万円／年・人を上限に、申請に基づき補助する制度も設けているが、令和 7 (2025) 年度の同制度の利用者はいなかった。

③e-JINZAI for university の利用促進

高等教育機関で働く者としての能力開発、意識向上を図ることを目的として、令和 3 (2021) 年度に導入した WEB 研修システム (e-JINZAI for university) の利用を促進し、高等教育に関する基礎的知識、大学職員に不可欠なジェネラリストとしての素養、および大学内の各部門・職階における専門知識・スキルの習得を図っている。

令和 7 (2025) 年度の利用状況は次のとおりであった。

・受講 ID 数 7ID・受講研修数 54 講座・受講回数合計 146 回

3. 令和 8 年度の向けて

上記のとおり、令和 7 年度の SD 活動は、限られたマンパワー・予算のもと、年度当初に定めた「令和 7 年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 SD 活動方針・研修計画」に基づき、概ね計画に沿って実施できている。ただし、大学職員に求められる職能が、ますます多様化し高度化する中で、SD の高度化も求められている。総務、財務、教務、学生支援、キャリア支援、入試・広報の各分野で職員の専門性の高度化が期待されており、それらに応えうる SD 活動方針・研修計画の立案が必要である。

< 資料編 目次 >

1. S D委員会規程

2. S D活動方針・研修計画

3. S D委員会 資料・議事録

4. 研修会

(1) 研修会 I

合同研修会

(2) 研修会 II

SD 研修会

S D 委員会規程

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 スタッフ・ディベロップメント委員会規程

（目的）

第1条 この規程は、事務職員の資質向上を図り、もって大学経営及び大学改革を目的とした組織的な取り組み（以下「スタッフ・ディベロップメント」、略称「SD」という。）を推進するため、スタッフ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（構成）

第2条 委員会は次に掲げる委員をもって構成する。

- （1）法人事務局長
- （2）大学事務局長
- （3）教務部長
- （4）事務職員 5名
- （5）FD 委員会委員 1名

2 委員会の委員長は、法人事務局長をもって充てる。

3 委員会に副委員長を置くことができる。

4 委員会には、委員以外の者を加えることができる。

（任命）

第3条 委員長、副委員長及び委員は理事長が任命する。

（任期）

第4条 委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

（招集・議事）

第5条 委員長は、委員会を招集し、議長となって会議を運営し、その結果を常任理事会に報告しなければならない。

2 理事長及び学長の要請または委員の過半数の要請があるとき、委員長は委員会を招集しなければならない。

3 委員会は、委員の過半数の出席により成立し、出席委員の過半数をもって議事を決する。

4 委員長に事故あるときは、予め委員会の指名した委員がその職務を代行する。

（委員会の決定事項の効力）

第6条 委員会において審議決定した事項は、理事会又は常任理事会の決定により初めて効力を生ずる。

(所掌業務)

第7条 委員会は次に掲げる事項を審議し、SDを推進するための活動を行う。

- (1) 大学経営に係わる企画及び改善に関する事項
- (2) 教育支援のための業務改善と実施体制に関する事項
- (3) 事務職員の資質向上を図るための組織的な研修に関する事項
- (4) 大学間連携におけるSDに関する事項
- (5) その他SDの推進、及び委員会に関する事項

(書記)

第8条 委員会内に書記を置く。書記は会議録を作成し、保管する。

(事務)

第9条 委員会に関する事務は、総務課があたる。

(その他)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、常任理事会の議を経て理事長が行う。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年2月5日から施行する。

S D活動方針・研修計画

令和 7 年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 SD 活動方針・研修計画

1. 令和 7 年度 SD 活動の基本方針

本学が行う SD 活動は、OJT を基本とした上で、それを補完するものとして、Off-JT 及び自己啓発の 3 つの視点から複合的に行う。Off-JT については、職員の能力向上や意識改革の契機となる機会の提供を目的として、各種研修会への参加、内外講師等によるセミナーを実施し、自己啓発については、従来の研修費補助、国家資格取得補助制度を踏襲する。

2. 令和 7 年度 SD 研修計画

(1) 「学内研修会」(SD 研修会) の実施

職員の意識改革の契機となる機会の提供、及び、ビジネススキル、マネジメント力の向上を目的として、内外の講師、又は発表者によるセミナーを実施する。

なお、FD 委員会及び人権問題委員会主催の研修会についても、内容に応じ、SD 委員会としても、職員の積極的な参加を促進する。

(2) 「学外研修会・セミナー」等への参加

職員の専門性を高めるとともに、国（文部科学省、厚生労働省など）の政策動向を正しく理解することを目的として、日本私立大学協会をはじめとする各種団体の研修会・セミナー等への参加を推奨する。また、他大学の担当者との交流を通して、情報収集のために必要なネットワークを構築することも期待する。

なお、学外研修会等への参加にあたっては、校務出張伺により事前の了承を得ること、及び復命書により研修内容の報告をすることとする。

(3) 学外「研修会」等に関する成果発表

上記（2）の報告に基づき、研修内容を発表する場を持ち、研修成果を共有する。

(4) 自己啓発の推進

① セミナー等自主参加研修費補助

大学の管理・運営、学生サービスの向上につながるセミナー、学会、講習会等の参加費、自己啓発のための書籍等購入費用について、2 万円／年・人を上限に、申請に基づき補助する。

② 国家資格取得補助

国家資格取得のための学費等について、合格した場合、3 万円／年・人を上限に、申請に基づき補助する。合格証の写し、学費領収書等の添付必要。

③ e-JINZAI for university の利用促進

令和 3（2021）年度に導入した WEB 研修システム（e-JINZAI for university）の利用を促進し、高等教育機関で働く者としての能力開発、意識向上を図る。

令和 7 年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 SD 活動方針・研修計画（実績追記版）

1. 令和 7 年度 SD 活動の基本方針

本学が行う SD 活動は、OJT を基本とした上で、それを補完するものとして、Off-JT 及び自己啓発の 3 つの視点から複合的に行う。Off-JT については、職員の能力向上や意識改革の契機となる機会の提供を目的として、各種研修会への参加、内外講師等によるセミナーを実施し、自己啓発については、従来の研修費補助、国家資格取得補助制度を踏襲する。

2. 令和 7 年度 SD 研修計画

(1) 「学内研修会」(SD 研修会) の実施

職員の意識改革の契機となる機会の提供、及び、ビジネススキル、マネジメント力の向上を目的として、内外の講師、又は発表者によるセミナーを実施する。

なお、FD 委員会及び人権問題委員会主催の研修会についても、内容に応じ、SD 委員会としても、職員の積極的な参加を促進する。

- 日 時 令和 8 (2026) 年 2 月 26 日 (木) 10 時 40 分から 12 時 10 分まで
場 所 2201 教室
内 容 事務局各課の事業計画及び業務課題等に関する説明
発表部署 総務課、財務課、大学総務課、教務課、学生支援課、キャリア支援課、
入試広報課

(2) 「学外研修会・セミナー」等への参加

職員の専門性を高めるとともに、国（文部科学省、厚生労働省など）の政策動向を正しく理解することを目的として、日本私立大学協会をはじめとする各種団体の研修会・セミナー等への参加を推奨する。また、他大学の担当者との交流を通して、情報収集のために必要なネットワークを構築することも期待する。

なお、学外研修会等への参加にあたっては、校務出張伺により事前の了承を得ること、及び復命書により研修内容の報告をすることとする。

→ 令和 7 (2025) 年度学外研修会一覧（主なもの）

実施日	実施団体	内 容
令和 7 年 5 月	全国私立大学教職課程協会	第 44 回研究大会 (松山大学文京キャンパス)
令和 7 年 6 月	大学経営協会	2025 年度総会記念講演会 (日本プレスセンタービル)
令和 7 年 10 月	日本私立短期大学協会	私立短期大学教務担当者研修会 (オンライン)
令和 7 年 10 月	愛知県私大事務局長会	職員研修会 (南山大学)
令和 7 年 10 月	日本私立短期大学協会	教務相当者研修会 (オンライン)
令和 7 年 11 月	日本私立大学協会	就職部課長相当者研修会 (アルカディア市ヶ谷)

(3) 学外「研修会」等に関する成果発表

上記(2)の報告に基づき、研修内容を発表する場を持ち、研修成果を共有する。

→ 今年度は「SD 研修会」を「事務局各課の事業計画及び業務課題等に関する説明」の場としたため、学外研修会等への参加内容を発表する機会は持てなかったが、復命書及び添付資料による報告・情報共有は実施済。

(4) 自己啓発の推進

①書籍購入・セミナー等自主参加研修費補助

自己啓発のための書籍等購入費用、及び大学の管理・運営、学生サービスの向上につながるセミナー、学会、講習会等の参加費について、2万円／年・人を上限に、申請に基づき補助する。

②国家資格取得補助

国家資格取得のための学費等について、合格した場合、3万円／年・人を上限に、申請に基づき補助する。合格証の写し、学費領収書等の添付必要。

③e-JINZAI for university の利用促進

令和3(2021)年度に導入したWEB研修システム(e-JINZAI for university)の利用を促進し、高等教育機関で働く者としての能力開発、意識向上を図る。

→ ①+②：6名・81,997円

③：受講ID数 7ID・受講研修数 54講座・受講回数合計 146回

S D委員会 資料・議事録

令和 7 年度

第 1 回 SD 委員会

- 1 日 時 令和 7 年 5 月 8 日（木） 10 時 40 分から 11 時 30 分まで（予定）
- 2 場 所 2 号館 7 階 2713 会議室
- 3 構成員 鈴木法人事務局長、片岡大学事務局長、山下教学部長、野田教学部長、
酒井 FD 委員、神谷雅、中西、稲葉、大竹、鹿内

4 内 容

（1）令和 7 年度 SD 活動方針策定にあたって

①SD の義務化とその対応について

- ・学園規程（別紙「岡崎女子大学・岡崎女子短期大学スタッフ・ディベロップメント委員会規程」参照）
- ・大学設置基準第 42 条の 3（研修の機会等） 平成 29 年 4 月 1 日施行
- ・短期大学設置基準第 35 条の 3（研修の機会等） 平成 29 年 4 月 1 日施行

※別添「SD ガイドブック」参照

②昨年度（令和 6 年度）の活動方針・研修計画と活動実績

- ・「令和 6 年度岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 SD 活動方針・研修計画（実績追加版）」及び
「令和 6 年度 第 5 回 SD 委員会 議事録」参照

③令和 7 年度 SD 活動方針・研修計画（案）について

- ・別紙参照

（2）令和 7 年度「学内研修会」について

①SD 研修会

- ・（未定）

※SD 委員会以外が主催する他の学内研修会（人権問題研修会、FD 研修会 等）へも積極的に参加する。

（3）令和 7 年度「学外研修会」について

①日本私立大学協会・日本私立短期大学協会主催研修会

- ・「日本私立大学協会 行事日程（予定）」「日本私立短期大学協会（行事日程）」参照

②その他 各種研修会

- ・「私学経営研究会セミナー 令和 7 年度 年間日程表」 参照

（4）e-JINZAI for university について

- ・令和 6 年度の利用実績の確認と令和 7 年度の利用促進について

5 その他

- ・議事録担当者について
- ・次回以降の日程について

令和7年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 第1回SD委員会 議事録

- 1 日 時 令和7年5月8日（木）10時43分～11時44分
- 2 場 所 2713会議室
- 3 出席者 鈴木法人事務局長、片岡大学事務局長、酒井FD委員長、
神谷雅、中西、稲葉、大竹、鹿内（記録）
- 4 欠席者 山下教学部長、野田教学部長

5 内 容

会議に先立ち、鈴木委員長から、今年度のSD委員会の構成員についての説明があった。

（1）令和7年度SD活動方針策定にあたって

①SDの義務化とその対応について

鈴木委員長から、資料P.4～5及び「SDガイドブック」P.2～3に基づき、SD活動の義務化とその対応に関する報告がなされた。

②昨年度（令和6年度）の活動方針・研修計画と活動実績

鈴木委員長から、資料P.6～8に基づき、令和6年度SD活動方針及び研修計画、活動実績の報告がなされた。

③令和7年度SD活動方針・研修計画(案)について

鈴木委員長から、資料P.9～13に基づき、令和7年度SD活動方針・研修計画(案)について提案がなされ、特に意見はなく了承された。

（2）令和7年度「学内研修会」について

鈴木委員長から、令和7年度「学内研修会」について提案と説明があり、以下の通り了承された。

①SD研修会

鈴木委員長より、SD研修会について意見が求められ、酒井FD委員長から、8月6日（水）に「教育の質保証及び学習成果の可視化」というテーマでFD・IR合同研修会が開催予定であることが報告された。さらに、研修会の内容が教員のみならず職員にとっても有益であることから、SD委員会も含めた合同研修会とする提案があり、了承された。SD単独の研修会については、昨年度と同様の発表形式に賛成する声が複数見られた。その中でも、神谷大学総務課長より「各課が事業計画表をもとに、今年度の進捗状況及び来年度の方針を発表することで業務内容の共有及び各課内における対立や不公平感の解消につながるのでは」という意見が出され、特に異議はなく了承された。日程に関しては各自検討して次回案を出し合うこととなった。

（3）令和7年度「学外研修会」について

①日本私立大学協会・日本私立短期大学協会主催研修会

鈴木委員長より、資料P.14～15に基づき、日本私立大学協会・日本私立短期大学協会主催研修会について説明があった。

②その他 各種研修会

鈴木委員長より、資料 P.16 に基づき、「私学経営研究会セミナー 令和 6 年度 年間日程表」について説明があった。

(4) e-JINZAI for university について

鈴木委員長より、資料 P.17 に基づき、WEB 研修システム「e-JINZAI for university」について、令和 6 年度の利用実績の報告と令和 7 年度の利用方法の説明及び利用促進の依頼があった。また、酒井 FD 委員長より利用促進のために SD 委員会でどのようなコンテンツがあるか紹介してはどうかとの提案があり、次回までに紹介したい動画を各委員が考えてくることとなった。

6 その他

・議事録担当者について

鈴木委員長から、議事録作成担当について、鹿内（第 1 回）、大竹（第 2 回）と若手の職員から順に担当するよう依頼があった。

・次回 SD 委員会日程について

鈴木委員長より、次回 SD 委員会の日程について 7 月 3 日（木）3 限はどうかという案が出され、問題なく了承された。欠席者については議事録をもって日程の確認を依頼することとした。

次回 SD 委員会（予定） 7 月 3 日（木） 13:10～ 2713 会議室

令和 7 年度

第 2 回 SD 委員会

- 1 日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木) 13 時 10 分から 14 時 00 分まで (予定)
- 2 場 所 2 号館 7 階 2713 会議室
- 3 構成員 鈴木法人事務局長、片岡大学事務局長、山下教学部長、野田教学部長、
酒井 FD 委員、神谷雅、中西、稲葉、大竹、鹿内
- 4 内 容
 - (1) 令和 7 年度 SD 研修会の日程について
 - (2) e-JINZAI for university 推奨動画について
- 5 その他

次 回 : 令和 年 月 日 () 時 分

令和7年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 第2回SD委員会 議事録

- 1 日 時 令和7年7月3日（木）13時10分～13時55分
- 2 場 所 2713会議室
- 3 出席者 鈴木法人事務局長、片岡大学事務局長、山下教学部長、野田教学部長、酒井FD委員長、神谷雅、中西、稲葉、鹿内、大竹（記録）
- 4 欠席者 なし
- 5 内 容

（1）令和7年度SD研修会の日程について

鈴木委員長より、資料P.2に基づき、令和7年度SD委員会活動日程について説明がなされた。各委員の予定を確認し各課の事業計画表の提出時期等を踏まえ調整した結果、次回以降のSD委員会の日程と併せて、以下の通り開催することが了承された。

また、令和7年度合同研修会（FD・IR・SD）のスケジュールが配布された。

- ・令和8年1月8日（木）3限：第3回SD委員会
- ・令和8年2月26日（木）2限：SD研修会
- ・令和8年2月26日（木）SD研修会終了後：第4回SD委員会

（2）e-JINZAI for university 推奨動画について

鈴木委員長より、資料P.3～12に基づき、e-JINZAI for university 推奨動画について意見が求められた。各委員より、大学職員として高等教育の基礎を身に付ける研修や各課の専門性を高める研修、DXやSNSといった時流テーマに基づいた研修等、以下の通り、様々な推奨動画が紹介された。

- ・高等教育基礎研修 > 大学の組織と運営
- ・スペシャリスト育成研修 > 大学部門研修 教学支援系部門 > 競合校に負けない大学のWEB戦略研修
- ・スペシャリスト育成研修 > 大学部門研修 教員部門（FD部門）
- ・スペシャリスト育成研修 > 大学部門研修 大学部門のDX
- ・スペシャリスト育成研修 > 専門職研修 人事部門 > 体系的人事制度・評価設計力、360度評価力
- ・ジェネラリスト養成研修 > 階層別 基礎研修 新入職員
- ・ジェネラリスト養成研修 > 階層別 テーマ研修 クレーム対応
- ・ジェネラリスト養成研修 > 階層別 テーマ研修 SNS教育
- ・時流テーマ研修 > 人的資本・人への投資
- ・時流テーマ研修 > 育児・介護
- ・DX研修 > DX人材育成講座 > DXリテラシー標準

最後に、鈴木委員長より、上記推奨動画について、教職員のe-JINZAI for university 利用促進のため、取りまとめたものを教職員へ展開するとの説明がなされた。

(3) その他

① 令和7年度私立大学等経常費補助金に係る学内研修用教材について

鈴木委員長および稲葉委員より、資料 P.13 に基づき、令和7年度私立大学等経常費補助金に係る学内研修用教材について、SD 委員にも閲覧可能となるよう、Teams にて後日共有予定であるとの説明がなされた。

② 私学経営研究会セミナー 令和7年度年間日程表

鈴木委員長より、資料 P.14 に基づき、私学経営研究会主催セミナーの年間日程表についての説明があり、申し込みをする際は総務課まで予約依頼することとされた。

次回 SD 委員会 令和8年1月8日(木) 13:10～ 2713 会議室

令和 7 年度

第 3 回 SD 委員会

- 1 日 時 令和 8 年 1 月 8 日（木） 13 時 10 分から 14 時 00 分まで（予定）
- 2 場 所 2 号館 7 階 2713 会議室
- 3 構成員 鈴木法人事務局長、片岡大学事務局長、山下教学部長、野田教学部長、
酒井 FD 委員、神谷雅、中西、稲葉、大竹、鹿内
- 4 内 容
 - （1）令和 8 年度 SD 委員会予算について
 - ・別紙、予算申請書類 参照
 - （2）令和 7 年度 SD 研修会について
 - ①実施要領
 - ・別紙「実施要領（R8.1.8 時点）」参照
 - ②当日の役割分担
 - ・別紙「令和 7 年度 SD 研修会に際しての役割分担等」参照
- 5 その他

次 回 ： 令和 8 年 2 月 26 日（木） SD 研修会終了後（12 時 10 分頃）＜予定＞

令和7年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 第3回SD委員会 議事録

- 1 日 時 令和8年1月8日（木）13時14分～13時40分
- 2 場 所 2713会議室
- 3 出席者 鈴木法人事務局長、片岡大学事務局長、山下教学部長、野田教学部長、酒井FD委員長、神谷雅、中西、大竹、鹿内、稲葉（記録）
- 4 欠席者 なし
- 5 内 容

（1）令和8年度SD委員会予算について

鈴木委員長より、資料P.2～4に基づき、令和8年度SD委員会予算について説明がなされた。予算見積としては対前年度比で5%削減しており、申請額は529,000円である。内訳としては、学内研修会で外部講師招聘した場合の謝礼等、自己啓発推進の個人の研修費及びe-JINZAIの利用料等を予定している。e-JINZAIについては利用推進を図り、来年度の活用実績をふまえ今後の継続について検討していくこととした。

（2）令和7年度SD研修会について

鈴木委員長より、資料P.5に基づき、令和7年度SD研修会の実施要領について説明がなされた。日時は令和8年2月26日（木）2限、場所は2201教室。内容は、総務課・財務課・大学総務課・教務課・学生支援課・キャリア支援課・入試広報課の7課から各課の事業計画及び業務課題等について、それぞれ10分程度（発表5分、質疑応答5分）とする。

山下教学部長より、業務の課題について焦点を絞った方が分かりやすいのではとの意見があり、議論した結果、今回の研修会のテーマは各課からの事業計画表等に基づき、他部署の具体的事業や重点目標を把握することであり、その旨1月末の事務局管理職連絡会議にて再度各課に依頼することとした。

鈴木委員長より、資料P.6に基づき、当日の役割分担について説明があり、研修会後に次回のSD委員会の開催について提案がなされた。

山下教学部長より、SD研修会を通して効果や成果を図る指標のようなものがあるのか質問があり、各課の業務に対する理解度を確認するため研修会後アンケートの内容に反映させることとした。

酒井FD委員長より、指標のひとつとして業務改善提案書のようなものが提出され、取組がカタチになってみえるという意見があり、改善提案についてはアンケートに任意で回答できるようにすることとした。また、今後の研修会に向けては、事前に業務改善提案（中期的なものを含む）をしてもらい、グループワークといった形式もあるのではないかと提案がなされた。

鈴木委員長より、今回のSD研修会ではアンケートの設問を工夫し、結果をふまえて3月に改めてSD委員会を行うことで了承された。

（3）その他

山下教学部長より、令和6年度SD報告書のWebサイト掲載に対しお礼があり、令和7年度版についても令和8年6月頃に掲載できればとの依頼がなされた。

令和 7 年度

第 4 回 SD 委員会

- 1 日 時 令和 8 年 3 月 27 日（金） 11 時 00 分から 11 時 30 分まで（予定）
- 2 場 所 2 号館 7 階 2713 会議室
- 3 構成員 鈴木法人事務局長、片岡大学事務局長、山下教学部長、野田教学部長、
酒井 FD 委員、神谷雅、中西、稲葉、大竹、鹿内
- 4 内 容
 - （1）令和 7 年度 SD 活動の振り返り
 - ・別紙、令和 7 年度岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 SD 活動方針・研修計画（実績追記版）
及び、令和 7 年度 SD 研修会アンケート結果 参照
 - （2）令和 8 年度 SD 委員会構成員について
 - ・別紙、原議書「SD 委員会委員の選任について」
- 5 その他

次 回 ： （開催日未定）

令和7年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 第4回SD委員会 議事録

1 日 時 令和8年3月27日（金）11時00分～11時30分

2 場 所 2713会議室

3 出席者 鈴木法人事務局長、片岡大学事務局長、山下教学部長、野田教学部長、
神谷雅、稲葉、大竹、鹿内、中西（記録）

欠席者 酒井FD委員長

4 内 容

（1）令和7年度SD活動の振り返り

鈴木委員長より、資料に基づき、令和7年度SD活動方針・研修計画に対する実績に関し、令和7年度学内研修会（SD研修会）の実施内容、学外研修会・セミナー等への参加状況、書籍購入・セミナー等への参加、国家資格取得などへの自己啓発への補助、e-JINZAIの利用状況などの報告がなされた。また、今回2月26日開催の令和7年度SD研修会のアンケート結果について説明がなされ、それらを受け各SD委員から以下のとおり意見が出された。

- ・SD研修会の活動方針を確認し、方針を取り入れた研修会を実施し、FD・SD活動について、事業計画・事業報告及び評価をWebサイトに掲載ができるように取り組んだ方がよい。
- ・学内研修会への教員の参加者が少なかったため、研修会の開催時期については、年度末よりも8月に開催するなどSD委員会から教職員に事前に可能な日程を掌握し、参加率が高くなる日程を検討したかどうか。
- ・開催の詳細内容をより効果的に周知できるようにした方がよい。
- ・今回の内容について、各部署の分掌が良く分かり役に立った。必ずしもSD研修会でなくてもよいが、事業計画や報告を繰り返す必要がある。
- ・今後、文部科学省など公的機関から、評価についてのアンケート調査なども増えてきているので、基本的な方針を各部署が的確に回答ができるような研修になるようにしたかどうか。
- ・文部科学省から推進されている教職協働を積極的に行うため、本学のこれからの課題として、テーマを決めて、今後の検討事項としてはどうか。

今後、今回提出された意見を参考にして、次期SD委員で開催日程・内容等を検討することが承認された。

（2）令和8年度SD研修会構成員について

鈴木委員長より、資料に基づき、令和8年度SD委員会委員について報告と説明がなされた。

5 その他

山下委員（教学部長）より、令和7年度SD活動報告書について、6月14日の認証評価書類提出時までに取りまとめ、SD委員会の承認を得た後、webサイトに掲載するよう要請がなされ、その方向で準備することとされた。

次回SD委員会 令和8年5月開催予定

研修会 I

S D研修会

令和7年6月27日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
令和7年度 IR 推進室・FD 委員会・SD 委員会合同研修会 実施要領

テーマ「教育の質保証および学修成果の可視化について」

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
IR 推進室・FD 委員会・SD 委員会

1. 目的

大学を取り巻く環境が大きく変化するなか、教育の質を保証し、その継続的な向上に取り組むことは、大学に課された喫緊の課題となっています。また、学修成果の可視化は、学生の主体的な学びの促進や教育の質保証・質向上に資する取り組みとして、教学マネジメントにおける重要性を増しています。

本研修では、教育の質保証・質向上および学修成果の可視化に関する理解を深めるとともに、今後の大学運営や教学改善に資する視点を得ることを目的とし、全学的な教学マネジメントの推進に寄与する機会とします。

2. 日時

令和7年8月6日（水）10：40～12：10

3. 講師

共愛学園前橋国際大学 学長 大森昭生先生

4. 場所

2301 教室

5. プログラム

- (1) 学長挨拶及び講師紹介
- (2) 講演・質疑応答

令和 8 年 2 月 26 日

令和 7 年度 SD 研修会

日 時 令和 8 (2026) 年 2 月 26 日 (木) 10 時 40 分から 12 時 10 分まで (予定)

場 所 2201 教室

内 容 事務局各課の事業計画及び業務課題等に関する説明

発表者 <事務局各課代表>

1. 総 務 課

2. 財 務 課

3. 大学総務課

4. 教 務 課

5. 学生支援課

6. キャリア支援課

7. 入試広報課